

武蔵村山市 令和6年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	都市農地保全支援プロジェクト事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 1 農業		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	農政 係 内線 226
	根拠法令等	東京都未来に残す東京の農地プロジェクト実施要綱、東京都未来に残す東京の農地プロジェクト補助金交付要綱、武蔵村山市未来に残す東京の農地プロジェクト事業補助金交付要綱		
	目的	農地が持つ環境保全などの多面的機能をより発揮させるとともに、地域住民に配慮した基盤整備により、貴重な都市農地の保全を図る。		SDGsの取組 2 飢餓をゼロに
内容	農地の多面的機能をより発揮させるために地域及び環境に配慮した基盤整備に要する経費の8分の7を補助するもの。補助対象は、土留、フェンス、農薬飛散防止施設、簡易直売所等の整備に係る経費。			
対象（交付先）	農業者			

評価指標	指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				1	補助金交付者数 (第三次農業振興計画に掲げる平成30年度から令和9年度までで累計15人を目標値とし、実績は当該年度までの累計を記載)	人
			実績	20	21	
			達成率	133%	140%	
2		—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算		
交付金額(千円)	5,185	2,887	28,212		—
一般財源	745	412	4,030		
国都支出金	4,440	2,475	24,182		
その他	0	0	0		
人件費	1,529	1,539	2,037		他市等の状況
会計年度任用職員以外の職員(千円)	1,529	1,539	2,037		
所要人員(人)	0.20	0.20	0.26		
会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(補助金+人件費)	6,714	4,426	30,249		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和5年度の市補助金の使途	
	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算			
総額(千円)	0	0	0	0	交付金額(千円)	2,887
市補助金	—	—	—	—	使途内訳	
会費	—	—	—	—		
繰越金	—	—	—	—		
事業収入	—	—	—	—		
その他	—	—	—	—		
支出	0	0	0	0	割合(%)	
交際費、飲食費	—	—	—	—	団体収入に占める補助金の割合	—
人件費	—	—	—	—	団体収入に占める繰越金の割合	—
事業経費	—	—	—	—	交付金額に対する繰越金の割合	—
その他	—	—	—	—		

視点別の分析	内容	評価	
		○	□
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい <input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
効果性	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない
	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和5年度の実績	補助金交付に当たっての課題
交付件数：1件 対象事業：土留フェンス	—

今後の方針																			
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																		
<p>本補助金は、都市化が進む市内の農地について、都市農地保全の取組として実施するものであり、周辺の環境との調和を図りながら、農業者の生産活動を継続していくためには補助が必要である。</p> <p>また、食の安全性に対する関心などから生産者の顔が見える安全で安心な農産物の需要は高く、住まいに近い地域の農業者が生産する新鮮な農産物を求める市民ニーズにも合致していることから、引き続き事業を実施していく。</p> <p>なお、令和5年度以降については、東京都の事業名称が「未来に残す東京の農地プロジェクト」に変更となっている。</p>																			
成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針			コスト			削減	維持	増加	向上			維持	○		低下		
	今後の方針																		
	コスト																		
削減	維持	増加																	
向上																			
維持	○																		
低下																			

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和6年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	市街化調整区域内道路整備事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 1 農業		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	—		
	目的	市南西部（中原及び残堀地区の一部）の市街化調整区域内農地（通称「多摩開墾」）内の市道（砂利道）を営農者からの要望に基づく農業委員会からの依頼により整備路線を決定し、都度補修するものであり、それにより営農者の利便性及び生産性の向上、農業振興等を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	多摩開墾内の市道は、耕作への配慮の観点からアスファルト舗装ではなく砂利敷のため、営農者が使用する車両の通行による損傷箇所が発生することから、年に一度補修工事を実施している。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	1	砂利舗装改修工事	件	目標	1	1	1
				実績	1	1	
達成率				100%	100%		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
事業費（千円）		1,353	1,859	2,000
財源内訳	一般財源	153	259	200
	国都支出金	1,200	1,600	1,800
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,147	1,154	1,175
	所要人員（人）	0.15	0.15	0.15
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		2,500	3,013	3,175

市民・議会等から寄せられた意見	
アスファルト舗装は油分がにじみ出し農作物への悪影響が危惧されることから使用を控えていたが、使用すべきではないかとの声も聞かれる。 しかし、当該地区内の道路は、営農者以外の通行者は想定されていないため、道路環境が整備されることにより不法投棄等を招き、悪影響を及ぼす可能性が高く、所管課としては意見を取り入れることへの懸念がある。	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
民間委託等は可能か	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和5年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
【施工場所】 残堀四丁目・中原五丁目地域内 【施工内容】 再生粒度調整碎石RM-30舗装の凸凹を25～28mmの厚さで整正 【工事面積】 982㎡ 【工事費】 1,859,000円	多摩開墾内道路は市道として認定しているため、市で維持管理を行っている。しかし、道路の利用者は区域内の営農者に限られることから、市道認定を廃止し、農道として再認定するなど、予算管理を含め市内における農業施策の所管である農業委員会への移管等を検討する余地がある。一例として、あきる野市では広域農地内の道路を農道として維持管理している。また、長野県内の複数の自治体では、自治体が原材料を支給し住民が道路を適宜補修していることから、補修方法の見直しが可能と考える。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 当該地区内道路の利用者は営農者に限られるものの、現状は市道として認定しているため、引き続き農業委員会からの依頼に基づき、砂利道の補修を実施する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

武蔵村山市 令和6年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	新規就農者定着支援事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 1 農業		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	農政 係 内線 226
	根拠法令等	東京都都市農業経営力強化事業実施要綱、東京都都市農業経営力強化事業費補助金交付要綱、武蔵村山市都市農業経営力強化事業費補助金交付要綱		
	目的	認定農業者や新たな農業の担い手となる認定新規就農者に対し、収益性の高い農業や早期に安定した農業経営ができるよう支援する。		SDGsの取組 2 飢餓をゼロに
内容	認定農業者が効率的で生産性の高い農業を展開するための施設等の整備や新規就農者が就農に必要な施設整備及び農業用機械の導入に係る費用の一部を補助する。			
対象(交付先)	認定農業者及び認定新規就農者			

評価指標	指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				1	補助金交付者数	人
			実績	—	2	
			達成率	—	100%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費				令和4年度決算			令和5年度決算			令和6年度予算			市民・議会等から寄せられた意見
補助金	交付金額(千円)	0	3,078	0									
	一般財源	-	440	-									
	国都支出金	-	2,638	-									
	その他	-	0	-									
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	1,539	1,410									
	所要人員(人)	0.00	0.20	0.18									
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0									
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00									
合計(補助金+人件費)		0	4,617	1,410									
他市等の状況													—

交付団体等の決算予算の状況				令和4年度決算			令和5年度決算			令和6年度予算			交付団体等の令和5年度の市補助金の使途	
収入	総額(千円)	0	0	0										
	市補助金	-	-	-										
	会費	-	-	-										
	繰越金	-	-	-										
	事業収入	-	-	-										
支出	総額(千円)	0	0	0										
	交際費、飲食費	-	-	-										
	人件費	-	-	-										
	事業経費	-	-	-										
	その他	-	-	-										
使途内訳													交付金額(千円)	3,078
割合(%)													団体収入に占める補助金の割合	—
													団体収入に占める繰越金の割合	—
													交付金額に対する繰越金の割合	—

視点別の分析	公益性	有効性	効率性	市の関与は必要か					
				市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある			
				市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当		
				一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当		
				廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当		
				補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある			
				補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当		
				補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当		
補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない							
類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当						

令和5年度の実績		補助金交付に当たっての課題	
●交付件数 2件	①マルチ用管理機、ハンマーナイフモア、ロッカー式自動販売機	—	
	②農産物低温貯蔵庫、長ネギ皮剥き機、管理機		

今後の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
本事業は、認定農業者及び認定新規就農者に対し、収益性の高い農業経営を行うための支援や、早期に農業経営を安定させ農業を継続するための施設及び農業機械に対する支援であることから、今後も引き続き補助を行う必要がある事業である。			
また、遊休農地の有効利用策として、高齢化等により農業経営が困難となった農地を認定新規就農者に貸し出す等により利用促進につながることから、引き続き新規就農者の受入れを実施していく。			
なお、令和5年度までは新規就農者定着支援事業補助金で実施していたが、令和6年度から従来は認定農業者を対象としていた都市農業経営力強化事業へ移行した。			
成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和6年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	新規就農者育成総合対策事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 1 農業		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	農政 係 内線 226
	根拠法令等	新規就農者育成総合対策実施要綱（国）、新規就農者育成総合対策（経営開始資金）費補助金交付要綱（都）、武蔵村山市新規就農者育成総合対策（経営開始資金）費補助金交付要綱		
	目的	次世代を担う農業者となることを志向する者に対し、補助金（経営開始資金）を交付することにより、農業経営開始直後の経営確立及び新規就農者の育成・確保を図ることを目的とする。		SDGsの取組 2 飢餓をゼロに 
内容	市内で新たに就農する50歳未満の者に対して、月額12万5千円の資金を交付することにより、就農時の経営の安定化を図る。なお、交付期間は3年間である。			
対象（交付先）	新規就農者（青年就農者）			

評価指標	指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				1	新規就農者数 (平成30年度から令和9年度までで累計6人を目標とし、実績は当該年度までの累計を記載)	人
			実績	3	4	
			達成率	100%	133%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算		
交付金額(千円)	2,250	1,500	1,500		-
一般財源	0	0	0		
国都支出金	2,250	1,500	1,500		
その他	0	0	0		
人件費	2,293	1,539	1,567		他市等の状況
会計年度任用職員以外の職員(千円)	2,293	1,539	1,567		
所要人員(人)	0.30	0.20	0.20		
会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
	0.00	0.00	0.00		-
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(補助金+人件費)	4,543	3,039	3,067		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和5年度の市補助金の使途	
	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算			
総額(千円)	0	0	0		交付金額(千円)	1,500
市補助金	-	-	-		使途内訳	
会費	-	-	-			
繰越金	-	-	-			
事業収入	-	-	-			
その他	-	-	-			
支出	0	0	0		割合(%)	
交際費、飲食費	-	-	-		団体収入に占める補助金の割合	-
人件費	-	-	-		団体収入に占める繰越金の割合	-
事業経費	-	-	-		交付金額に対する繰越金の割合	-
その他	-	-	-			

視点別の分析	公益性	有効性	効率性	市の関与は必要か				
				市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある		
				一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
				廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
				補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当	
				補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
				補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
				補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない						
	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当					

令和5年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和5年度は1人に支給した。 【内訳】 ●月額125千円×12月×1人=1,500千円	-

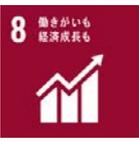
【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

		今後の方針			
		コスト			
成果	向上	削減	維持	増加	
	維持		○		
	低下				

【今後の方向性】 令和4年度に開始された国の新規就農者支援策であるため、引き続き支援を行っていく。なお、補助期間は3年間であるが、補助期間終了後についても一定期間（5年間程度）営農状況の確認等が必要とされている。
市内の農地保全や担い手の確保、農業振興の側面からは、引き続き就農者の支援を行っていきたい。

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和6年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	地域農業経営基盤強化促進計画策定事業			
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 1 農業			
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	農政 係	内線 226
	根拠法令等	農業経営基盤強化促進法			
目的	高齢化や人口減少による農業者の減少、耕作放棄地の拡大により、地域の農地が適切に利用されなくなることが懸念されるため、地域での話し合いにより、地域の目指すべき農地利用の将来像を明確化する地域計画を定め、農地バンクを活用した農地の集約化等を進めることを目的とする。			SDGsの取組 8 働きがいも経済成長も	
内容	令和5年度：①農業者へのアンケート調査 ②調査情報の地図による整理 ③地域での話し合い（座談会等）の開催 令和6年度：④地域計画（案）の検討会の開催 ⑤地域農業経営基盤強化促進計画の策定				

評価指標	指標名		単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	1	担い手に対する農用地の集積率 (目標集積率：44.8%)	%	目標	—	—	44.8
				実績	—	—	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見												
		令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算												
事業費 (千円)	一般財源	0	2,970	1,729												
	財源内訳															
	国都支出金	-	0	0												
	その他	-	0	0												
人件費	会計年度任用職員以外の職員 (千円)	230	770	1,488												
	所要人員 (人)	0.03	0.10	0.19												
	会計年度任用職員 (千円)	0	0	0												
	所要人員 (人)	0.00	0.00	0.00												
合計 (事業費+人件費)		230	3,740	3,217												

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある		
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当

令和5年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
令和5年度は下記の取組を実施した。 ①アンケート調査の実施（現状把握、基礎データ整理分析） 第1次調査：発送333通、回答258通 第2次調査：発送158通、回答131通 ②アンケート結果の整理及び分析 農地利用意向調査報告書の作成及び公表 ③座談会の運営 第1回：令和6年2月21日開催 第2回：令和6年3月21日開催	—

今後の方針																										
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																										
本事業は、農業経営基盤強化促進法等の一部改正に伴い、将来の農業や農地の利用について話し合いを行い、令和6年度までに地域農業経営基盤強化促進計画を策定するものであり、同計画の策定後については、農地利用意向の把握に努め、担い手に集積等を行い、効率的な農地利用が行えるよう計画の改定を行っていく必要がある。																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						今後の方針			コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持					低下				
		今後の方針																								
		コスト																								
成果	向上	削減	維持	増加																						
	維持																									
	低下																									
(廃止・休止・終了の場合は「〇」の記入不要)																										

武蔵村山市 令和6年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	体験型市民農園事業				
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 1 農業				
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	農政 係 内線 226		
	内容	市民の農業体験の機会を確保するとともに、農業に対する理解の促進を図り、もって良好な農地の保全を推進することを目的とする。 体験型市民農園の開設に当たり必要となる耕地の区画割りや通路の整備、運営当初に必要な施設（倉庫等）の整備費用の一部について、整備の主体となる農地所有者に補助するもの。		SDGsの取組 2 飢餓をゼロに 		
事務事業の実績	事業経費		令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和5年度の検討状況 開園を検討している農業者に対し事業内容について説明した。
	事業費（千円）		0	0	0	
	財源内訳	一般財源	-	-	-	
		国都支出金	-	-	-	
		その他	-	-	-	
	人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	230	231	235	
		所要人員（人）	0.03	0.03	0.03	
会計年度任用職員（千円）		0	0	0		
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（事業費+人件費）		230	231	235		
所管課の評価	事務事業の評価		事務事業の今後の進め方			
	【達成度】	<input type="checkbox"/> 目標以上 <input type="checkbox"/> 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 目標以下 <input type="checkbox"/> その他 第五次長期総合計画及び第三次農業振興計画において、体験型市民農園の設置数（3箇所）を成果指標としているが、2箇所の開設にとどまっている。これまで農業委員会報で広報してきた成果により、開園を検討する農業者が現れ、今後は開園が現実化できるよう支援していく。		体験型市民農園は、都市部における農業と住民の交流を深める取組として、市民が農業に関わる契機となり、農に対するふれあいや農地保全を図るため設置しており、本補助金は、その開設に係る費用を補助するものであることから、今後も継続していく。 引き続き「ふれあう農業の推進」を図るため、体験型市民農園の開設に向けて農地所有者への交渉を行い、3箇所目の開設を目指していく。		

武蔵村山市 令和6年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	スタートアップ支援事業				
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 2 商工業				
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	商工 係 内線 225		
	内容	市内経済の活性化及び雇用の創出を図るため、地域の課題解決に資する新たなビジネスモデルを創出する事業者に対するスタートアップ支援とすることを目的に、補助金を交付するものであり、ビジネスプランコンテストを開催し、優秀なビジネスプランに対して奨励金を支給する。		SDGsの取組 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 		
事務事業の実績	事業経費		令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和5年度の検討状況 令和6年度以降の事業実施について検討するため、ビジネスプランコンテストの視察や、他自治体の事例研究等により事業の検討を行った。
	事業費（千円）		0	0	3,008	
	財源内訳	一般財源	-	-	1,504	
		国都支出金	-	-	1,504	
		その他	-	-	0	
	人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	770	784	
		所要人員（人）	0.00	0.10	0.10	
会計年度任用職員（千円）		0	0	0		
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（事業費+人件費）		0	770	3,792		
所管課の評価	事務事業の評価		事務事業の今後の進め方			
	【達成度】	<input type="checkbox"/> 目標以上 <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標以下 <input type="checkbox"/> その他 ビジネスプランコンテストの視察や、他自治体の事例研究を通して、令和6年度以降の事業実施について検討を行うことができた。		【令和6年度】 8月27日（火）：エントリー開始 10月7日（月）：エントリー締切 10月12日（土）：ワークゼミの開催 11月11日（月）：1次審査書類の提出締切 12月15日（日）：最終審査会（プレゼンテーション）の開催		

武蔵村山市 令和6年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	武蔵村山地域ブランド創造活動事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 2 商工業		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	商工 係 内線 225
	根拠法令等	武蔵村山地域ブランド認証事業実施要綱、武蔵村山地域ブランド開発事業補助金交付要綱、武蔵村山地域ブランド普及促進事業補助金交付要綱		
	目的	市内の魅力ある商品等を認証し、広く他の地域に発信するとともに、本市の活性化と魅力の向上を図る。		SDGsの取組 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
内容	市内産品を活用した商品等を武蔵村山地域ブランドとして認証し、市内外へ発信するとともに、認証商品の開発や普及促進に要した費用の一部を補助する。			
対象（交付先）	地域ブランド認証事業者			

評価指標	指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	1	地域ブランド認証商品数	品目	目標	15	15
			実績	10	9	
			達成率	67%	60%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費				令和4年度決算			令和5年度決算			令和6年度予算		
補助金	交付金額（千円）	200	200	900	市民・議会等から寄せられた意見							
	一般財源	200	200	900	—							
	国都支出金	0	0	0								
	その他	0	0	0								
会計年度任用職員以外の職員（千円）	153	154	157									
人件費	所要人員（人）	0.02	0.02	0.02	他市等の状況							
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	●立川市：輝く個店事業 商工会議所と連携し、地域のお店の中から「輝く個店」を選出し、専用ホームページ等で紹介している。							
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00								
合計（補助金+人件費）				353	354	1,057						

交付団体等の決算予算の状況				令和4年度決算			令和5年度決算			令和6年度予算		
収入	総額（千円）	0	0	0	交付団体等の令和5年度の市補助金の使途							
	市補助金	-	-	-	交付金額（千円）		200					
	会費	-	-	-	広告物等作成経費		200					
	繰越金	-	-	-	使途内訳							
	事業収入	-	-	-	割合（％）							
支出	総額（千円）	0	0	0	団体収入に占める補助金の割合		—					
	交際費、飲食費	-	-	-	団体収入に占める繰越金の割合		—					
	人件費	-	-	-	交付金額に対する繰越金の割合		—					
	事業経費	-	-	-								
	その他	-	-	-								

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない		
類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当		

令和5年度の実績	補助金交付に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> ●更新2件 武蔵村山産の「東京狭山茶」のぞみ福祉園の「手づくり村山さんクッキー」 ●補助金交付件数1件 交付金額200,000円 武蔵村山市製茶組合がのぼり旗を作成した。 	認証商品の増加に向けたPR方法の検討が必要である。

今後の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
市内産業の活性化のためには、市内の魅力ある商品等を地域ブランドとして認証し、広く市内外に情報発信する取組が重要である。本事業は、市内事業者に対して、新たな認証商品等の開発及びその広告宣伝の促進のため活用してもらうものであり、今後も継続していく必要がある。しかし、近年では活用実績が伸び悩んでおり、本事業についての効果的な周知方法の検討が課題となっている。令和5年度の行政評価委員会による外部評価において、「開発支援については他の創業支援を目的とした事業等との連携を検討する必要がある」との意見をいただいた。また、その際には、既存の認証商品の分析により、それが本市の地域らしさにどのように結び付いているかの知見を確認し、新規商品の開発に役立てることを期待したい」との評価をいただいた。現状、事業者より登録の相談を数件いただいていることから、これらについて実際に申請を検討いただくよう引き続きフォローをしていく。			
成果	向上		○
	維持		
	低下		

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和6年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	創業支援等事業				
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 2 商工業				
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	商工 係	内線	225
	根拠法令等	創業支援等事業計画、産業競争力強化法				
	目的	創業希望者等の支援を行うことにより、市内での新たな産業の育成と雇用を生み出すとともに、地域経済の活性化を図る。				SDGsの取組 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 
内容	創業を志す者のために、創業塾、創業セミナー、創業個別相談を実施する。事業実施は金融機関に委託する。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				1	創業支援制度を利用した創業者数	人
			実績	13	8	
			達成率	62%	38%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	市民・議会等から寄せられた意見 令和4年9月第3回市議会定例会で「講師は公平性を保つよう中小企業診断士を始めとする土業、起業家など様々な講師に依頼していただきたい。」との意見が寄せられている。
事業費（千円）		1,980	1,386	1,288	
財源内訳	一般財源	1,965	1,361	1,238	
	国都支出金	0	0	0	
	その他	15	25	50	
	会計年度任用職員以外の職員（千円）	459	462	470	
人件費	所要人員（人）	0.06	0.06	0.06	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		2,439	1,848	1,758	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和5年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> ●むらやま創業塾「ゆめ」：参加者5人（全5回、定員10人） ●むらやま創業セミナー「みらい」：参加者2人（全1回、定員20人） ●個別相談（随時）：参加者延べ24人（開催日数24日） ●市内創業者を対象とした補助金：利用者4人（合計398千円） 	市内の創業希望者や創業に興味のある方の更なる発掘が課題である。

今後の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
国の認定を受けた「創業支援等事業計画」に基づき、これから創業する方や創業しておおむね5年未満の方を対象として各種支援を実施するものであり、地域の雇用機会の確保や地域経済の活性化を図るため、今後も継続して実施していく。 また、塾やセミナーの内容等について、スタートアップ支援事業の開催時期や取組内容との連動性も意識することにより、更に効果的に事業の周知を図れるよう実施したい。																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>				今後の方針			コスト			成果	向上		○		維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																						

武蔵村山市 令和6年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	商店街振興事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 2 商工業		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	商工 係 内線 225
	根拠法令等	①武蔵村山市商店街チャレンジ戦略支援事業費補助金交付要綱 ②商工業振興奨励補助金交付要綱		
	目的	中小商業の振興を図り、もって地域経済の活性化に寄与する。		SDGsの取組 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
内容	①商店会等が実施するイベント事業に対し補助金を交付する。 ②商工会が行う商業振興事業（まいど～宅配事業）に対し補助金を交付する。			
対象（交付先）	①市内商店会等 ②武蔵村山市商工会			

評価指標	指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				1	補助金交付件数（イベント数） ※右記目標値は、当初予算の見積値	件
2	まいど～宅配事業利用者数	人	実績	6	6	
			達成率	75%	75%	
			目標	2,200	2,200	2,200
			実績	2,115	1,457	
			達成率	96%	66%	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算		
交付金額（千円）	6,099	6,384	7,070		他市等の状況 ①の取組については他市でも同様に行っている。 ②の取組については他市で同様のものは見られない。
一般財源	3,849	3,977	4,195		
国都支出金	2,250	2,407	2,875		
その他	0	0	0		
会計年度任用職員以外の職員（千円）	765	770	784		
所要人員（人）	0.10	0.10	0.10		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	6,864	7,154	7,854		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和5年度の市補助金の使途	
	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算			
総額（千円）	0	0	0	0	交付金額（千円）	6,384
市補助金	-	-	-	-	使途内訳	
会費	-	-	-	-		
繰越金	-	-	-	-		
事業収入	-	-	-	-		
その他	-	-	-	-		
総額（千円）	0	0	0	0	割合（%）	
交際費、飲食費	-	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合	—
人件費	-	-	-	-	団体収入に占める繰越金の割合	—
事業経費	-	-	-	-	交付金額に対する繰越金の割合	—
その他	-	-	-	-		

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 設定していない		
性	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	

令和5年度の実績	補助金交付に当たっての課題
【補助実績】 ①商店街チャレンジ戦略支援事業費補助金 ●村山中央ショッピングセンター商店会（2イベント、1,818千円） ●村山団地中央商店会（2イベント、1,610千円） ●横中商店会（2イベント、956千円） ②商工業振興奨励補助金 ●武蔵村山市商工会（2,000千円）	地元商店街の活性化のため、各事業について市民への周知を拡大することにより、イベントへの来場者又はまいど～宅配事業利用者の増加につなげる。

【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

		今後の方針		
		コスト		
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

地域経済の振興や地域コミュニティの活性化を図るため、引き続き市内商店会等への補助を行うとともに、都補助金を活用した新たな事業実施要望の有無について、連絡会等を通じて意見を求めていく。

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和6年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	空き店舗活用事業				
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 2 商工業				
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	商工 係	内線	225
	根拠法令等	産業振興ビジョン				
	目的	地域経済の活性化を図るため、市内の空き店舗や空きオフィスの利活用を促進する。			SDGsの取組 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	
内容	市内の事業用に供する不動産情報の収集・情報発信を行い、利活用を希望する事業者、創業を希望する起業家につなげる支援を行う。					

評価指標	指標名		単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	1	空き店舗を活用した事業者数	事業者	目標	2	2	2
				実績	0	0	
達成率				0%	0%		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見			
	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	—			
事業費（千円）	0	0	1,800				
財源内訳	一般財源	-	1,800				
	国都支出金	-	0				
	その他	-	0				
	会計年度任用職員以外の職員（千円）	994	1,000				1,019
人件費	所要人員（人）	0.13	0.13				0.13
	会計年度任用職員（千円）	0	0				0
	所要人員（人）	0.00	0.00				0.00
合計（事業費+人件費）	994	1,000	2,819				

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和5年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
商店会に対して、空き店舗を活用した東京都の補助制度を案内した。職員の目視により商店会における空き店舗の状況を調査した。また、東京都宅地建物取引業協会や商店会と情報交換を行うなどして事業内容の検討を行った。	—

今後の方針			
【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
本事業の取組として新たに空き店舗活用補助金を創設する。制度としては、商店街にある不動産事業者から提供された空き店舗情報を市の公式ホームページで公開し、空き店舗を活用して事業を営もうとする方と不動産事業者をマッチングする。不動産事業者と空き店舗活用希望者の間で賃貸借契約が結ばれ、商店会に加入する場合には改修経費と店舗賃料について補助を実施するものである。			
成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			○
維持			
低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和6年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	バリアフリー住宅化助成事業			
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 2 商工業			
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	商工 係	内線 225
	根拠法令等	令和6年度武蔵村山市バリアフリー住宅化補助金交付要綱			
	目的	市民の住環境における安心安全を推進するとともに、地域経済の活性化に資することを目的とする。			SDGsの取組 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 
内容	市内事業者によって施工される住宅の手すり新設、段差解消等のバリアフリー改修工事に対し、5万円を上限に工事費用の2分の1を補助金として交付する。				
対象（交付先）	市民				

評価指標	指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				1	補助金交付件数 ※右記目標値は、当初予算の見積値	件
			実績	15	17	
			達成率	75%	85%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	-
			達成率	-	-	-

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算		
交付金額（千円）	726	766	1,000		-
一般財源	726	766	1,000		
国都支出金	0	0	0		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況
所要人員（人）	0.11	0.11	0.11		
会計年度任用職員（千円）	645	0	0		
所要人員（人）	0.45	0.00	0.00		工事施工者について市内事業者に限定している市は本市を含めて5市（本市、八王子市、調布市、町田市、東村山市）、限定せず実施している市は20市である。
合計（補助金+人件費）	2,212	1,613	1,862		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和5年度の市補助金の使途	
	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算			
総額（千円）	0	0	0		交付金額（千円）	766
市補助金	-	-	-		使途内訳	
会費	-	-	-			
繰越金	-	-	-			
事業収入	-	-	-			
その他	-	-	-			
支出	総額（千円）				割合（%）	
交際費、飲食費	-	-	-		団体収入に占める補助金の割合	-
人件費	-	-	-		団体収入に占める繰越金の割合	-
事業経費	-	-	-		交付金額に対する繰越金の割合	-
その他	-	-	-			

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input type="checkbox"/> 必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input type="checkbox"/> 効果がある	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 設定していない	
類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当		

令和5年度の実績	補助金交付に当たっての課題
●バリアフリー住宅化補助金 補助件数：17件 補助額：766,000円	高齢福祉課が所管する高齢者自立支援住宅改修費給付事業と対象が重複している。

【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
	向上		
維持			
低下			

本事業は、令和4年度まで安心安全・エコ住宅等改修助成事業補助金として実施しており、令和5年度から、バリアフリー住宅化補助金（産業観光課）、木造住宅耐震改修等補助金（防災安全課）、ゼロカーボンシティ住宅普及促進事業補助金（環境課）として各所管において実施することとなったものである。

地域経済の活性化に資することを目的として市内事業者が施工する工事に限定しているが、各年度の実績は10数件にとどまり、地域経済の活性化への期待された効果は限定的であると言える。

また、高齢福祉課が所管する高齢者自立支援住宅改修費給付事業と対象が重複していることから、廃止の方向で見直しを行いたい。

（廃止・休止・終了の場合は「0」の記入不要）

外部評価調書（補助金等）

事務事業名		バリアフリー住宅化助成事業	
所管部署		協働推進部 産業観光課 商工係	
視点別の評価	公益性	<ul style="list-style-type: none"> ・市の関与は必要か ・市民のニーズに適合しているか ・一般市民にも間接的な受益があるか 	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止・休止とした場合の市民への影響 ・補助基準は明確か ・補助金の交付により期待された効果が得られたか 	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・補助内容や補助額の見直しは可能か ・補助期間を設定しているか ・類似の補助金との統合は可能か 	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
総合評価	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
	<p>本事業は、市民の住環境における安心安全を推進するとともに、地域経済の活性化を目的として開始されたものであるが、交付実績から判断すると地域経済の活性化に結び付く施策とは言い難く、産業観光課所管の事業としては廃止を見据えた検討が必要であると所管課の評価に異論はない。</p> <p>また、高齢者自立支援住宅改修費給付事業と類似性が高く、実施内容や対象者が重複していることから、本事業の在り方を整理し、予防的に住宅のバリアフリー化を希望する方への支援という観点から、将来的には福祉又は住宅関連を所管する部署への所管替えを検討していく必要があると思料する。</p> <p>ただし、見直しに当たっては、現在、年齢制限がなく要介護認定の申請をしない高齢者に対し一定のニーズがあることから、その影響を十分に精査した上で、慎重に判断することを求めたい。また、地域要件を課すことを求めるものではないが、地域内事業者による住宅改修は地域経済に一定の寄与があるものと思われる。よって、事業を移管・統合する際は、地域内事業者へ誘導する方策や組織横断的に取り組むことで産業振興以外の公共目的も同時に達成し、地域の経済効果につながるような施策も併せて検討することを求めたい。</p>		

武蔵村山市 令和6年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	企業誘致促進事業			
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 2 商工業			
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	商工 係	内線 225
	根拠法令等	武蔵村山市企業誘致条例 武蔵村山市企業誘致条例施行規則			
	目的	市への企業の立地を促進するために必要な措置を講ずることにより、地域産業の振興及び市民の雇用機会の拡大を図り、もって地域経済の活性化及び市民生活の向上に資することを目的とする。			SDGsの取組 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
内容	市内工業地域に工場等を新設又は増設した企業を指定企業として認定し、奨励金を交付する。				
対象（交付先）	指定企業				

評価指標	指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				1	企業誘致による新規就業者数	人
			実績	0	0	
			達成率	0%	0%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

事業経費				令和4年度決算			令和5年度決算			令和6年度予算		
補助金	交付金額（千円）			0	20,000	20,000	0	20,000	20,000	0	20,000	
	一般財源			-	20,000	20,000	-	20,000	20,000	-	20,000	
	国都支出金			-	0	0	-	0	0	-	0	
	その他			-	0	0	-	0	0	-	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）			1,987	539	549	0	0	0	0	0	
	所要人員（人）			0.26	0.07	0.07	0	0	0	0	0	
	会計年度任用職員（千円）			0	0	0	0	0	0	0	0	
	所要人員（人）			0.00	0.00	0.00	0	0	0	0	0	
合計（補助金+人件費）				1,987	20,539	20,549						

市民・議会等から寄せられた意見	
-	
他市等の状況	
30市町村中14市町村（本市含む）が企業誘致に関する奨励金制度を実施しており、4市が企業誘致に関するマッチング支援制度を実施している。	

交付団体等の決算予算の状況				令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
収入	総額（千円）			0	0	0
	市補助金			-	-	-
	会費			-	-	-
	繰越金			-	-	-
	事業収入			-	-	-
	その他			-	-	-
支出	総額（千円）			0	0	0
	交際費、飲食費			-	-	-
	人件費			-	-	-
	事業経費			-	-	-
	その他			-	-	-

交付団体等の令和5年度の市補助金の使途	
交付金額（千円）	20,000
使途内訳	
割合（%）	
団体収入に占める補助金の割合	-
団体収入に占める繰越金の割合	-
交付金額に対する繰越金の割合	-

視点別の分析	公益性	有効性	効率性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
				市民のニーズに適合しているか		<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
				一般市民にも間接的な受益があるか		<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
				廃止・休止した場合の市民への影響		<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
				補助基準は明確か		<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある	
				補助金の交付により期待された効果が得られたか		<input type="checkbox"/> 効果がある	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
				補助内容や補助額の見直しは可能か		<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
				補助期間を設定しているか		<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない	
類似の補助金との統合は可能か		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当				

令和5年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和3年度に新規指定した企業について、企業誘致奨励金を交付した。 ●交付件数1件 20,000千円	市内への移転希望のある市外事業者に対する周知方法の検討を行う。

【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

本事業は、市内産業の振興及び市民の雇用機会の拡大に寄与するものであり、引き続き工業集積の維持、発展に向けて、製造業やその研究開発機能、先端産業企業等の誘致を図る。また、新青梅街道沿道や多摩都市モノレール新駅周辺区域等へ商業、サービス業等の店舗や事業所等の立地の促進を図るため、対象業種及び対象地域の拡大について検討を進める。

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和6年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	武蔵村山観光まちづくり協会助成事業			
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 3 観光			
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	観光 係	内線 224
	根拠法令等	令和5年度武蔵村山観光まちづくり協会交付金交付要綱			
目的	武蔵村山観光まちづくり協会の運営に当たり必要な経費を交付することにより、協会の充実を図り、地域の観光資源の活用の推進に資する。			SDGsの取組 8 働きがいも経済成長も	
内容	観光まちづくり協会によりロケーションサービス事業、まち歩きイベント、その他の観光事業を実施する。				
対象（交付先）	武蔵村山観光まちづくり協会				

評価指標	指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	1	まち歩きイベントの参加者数	人	目標	20	20
			実績	23	29	
			達成率	115%	145%	
2	観光まちづくり協会会員数による会費	円	目標	850,000	1,000,000	1,020,000
			実績	913,000	1,032,000	
			達成率	107%	103%	

補助金	事業経費	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
	交付金額（千円）	18,000	18,000	20,500	
一般財源	一般財源	18,000	18,000	20,500	-
	国都支出金	0	0	0	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	2,293	2,308	2,350	他市等の状況
	所要人員（人）	0.30	0.30	0.30	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	-
合計（補助金+人件費）		20,293	20,308	22,850	

収入	交付団体等の決算予算の状況	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	交付団体等の令和5年度の市補助金の使途	
	総額（千円）	18,952	19,409	22,030		交付金額（千円）
市補助金	市補助金	18,000	18,000	20,500	人件費	13,318
	会費	913	1,032	1,020	管理費	3,403
	繰越金	0	0	0	事業費	1,279
	事業収入	0	32	0		
	その他	39	345	510		
支出	総額（千円）	18,952	19,409	22,030	割合（％）	
	交際費、飲食費	0	0	0	団体収入に占める補助金の割合	93%
	人件費	13,460	13,531	16,588	団体収入に占める繰越金の割合	0%
	事業経費	1,456	1,686	1,055	交付金額に対する繰越金の割合	0%
	その他	4,036	4,192	4,387		

視点別の分析	公益性	有効性	効率性	効果性	率	性
	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある			
市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当			
一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当			
廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当			
補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input checked="" type="checkbox"/> 不明確な部分がある				
補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input type="checkbox"/> 効果がある	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当			
補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当			
補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 設定していない				
類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当			

所管課の評価	令和5年度の実績	補助金交付に当たっての課題																								
	<table border="1"> <tr> <th>会員数</th> <th>法人会員</th> <th>個人会員</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>正会員</td> <td>86人</td> <td>66人</td> <td>21人</td> <td>19人</td> <td>107人</td> <td>85人</td> </tr> <tr> <td>賛助会員</td> <td>11人</td> <td>10人</td> <td>6人</td> <td>6人</td> <td>17人</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>97人</td> <td>76人</td> <td>27人</td> <td>25人</td> <td>124人</td> <td>101人</td> </tr> </table> <p>実施内容 観光案内所の運営：魅力発信ポスターの発行：ロケーションサービス事業 まち歩きイベント：魅力マイスターの認証：その他</p>	会員数	法人会員	個人会員	合計	正会員	86人	66人	21人	19人	107人	85人	賛助会員	11人	10人	6人	6人	17人	16人	合計	97人	76人	27人	25人	124人	101人
会員数	法人会員	個人会員	合計																							
正会員	86人	66人	21人	19人	107人	85人																				
賛助会員	11人	10人	6人	6人	17人	16人																				
合計	97人	76人	27人	25人	124人	101人																				

今後の方針																			
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																		
今後も行政との協働により、観光施策を充実させ、自主事業等の収益事業による観光まちづくり協会の収益の向上を図るとともに、本市の知名度の向上等により来訪者の増加を目指す。	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今後の方針		コスト			成果	向上		○		維持				低下			
今後の方針		コスト																	
成果	向上		○																
	維持																		
	低下																		

武蔵村山市 令和6年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	観光納涼花火大会助成事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 3 観光		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	観光 係 内線 224
	根拠法令等	令和6年度武蔵村山市観光納涼花火大会交付金交付要綱		
	目的	観光納涼花火大会を開催する武蔵村山市商工会に対し観光納涼花火大会交付金を交付することにより、その充実を図り、もって観光事業の振興に寄与することを目的とする。	SDGsの取組 8 働きがいも経済成長も	
内容	武蔵村山市商工会、青年部及び観光納涼花火大会実行委員会の主催で武蔵村山市観光納涼花火大会を開催する。 武蔵村山市商工会が主催する観光納涼花火大会に対して、その経費（花火購入代金、会場等設営委託料、その運営経費等）の一部を補助する。			
対象（交付先）	武蔵村山市商工会			

評価指標	指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	1	観光納涼花火大会の実施	—	目標	実施	実施
			実績	未実施	実施	
			達成率	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算		
交付金額（千円）	0	6,500	10,000		—
一般財源	—	6,500	10,000		
国都支出金	—	0	0		
その他	—	0	0		
会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	2,308	2,350		他市等の状況
所要人員（人）	0.00	0.30	0.30		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	0	8,808	12,350		—

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和5年度の市補助金の使途
	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算		
総額（千円）	0	16,667	18,378		交付金額（千円） 6,500
市補助金	—	6,500	10,000		花火費 5,000
会費	—	0	0		設営費 1,500
繰越金	—	0	0		
事業収入	—	0	0		
その他	—	10,167	8,378		
総額（千円）	0	16,667	18,378		
支出					割合（％）
交際費、飲食費	—	1,049	1,000		団体収入に占める補助金の割合 39%
人件費	—	415	400		団体収入に占める繰越金の割合 0%
事業経費	—	15,203	16,978		交付金額に対する繰越金の割合 0%
その他	—	0	0		

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
	効果率	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	率	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	性	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 設定していない	
	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	

令和5年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で未実施となった。令和5年度は4年ぶりに開催した。 ●日程：令和5年8月26日（土） ●場所：（第一会場）野山北公園運動場 （第二会場）イオンモールむさし村山駐車場 ●内容：花火打上げ、模擬店販売、舞台ステージ等	物価高騰に伴う花火代金の高騰や、燃料費の高騰に伴い照明等にかかる経費が高くなってきているため、運営が苦しい状態である。

今後の方針

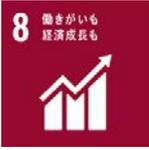
【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

観光納涼花火大会は、村山テエダラまつりと並び、市内外からの集客力が高く、市の観光事業の振興にも寄与していることから、引き続き本事業に対する補助を行い、本市の観光施策の一助となるようにする。

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和6年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	村山温泉「かたくりの湯」運営事業					
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 3 観光					
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	観光 係 内線 224			
	内容	指定期間満了に伴い、令和5年4月1日から一時閉館している市立温泉施設、村山温泉「かたくりの湯」について、有識者による検討委員会を設置し、同委員会にて施設維持管理、施設修繕、観光施策等の多角的な視点からの現状分析を行い、存廃を含めた温泉施設の在り方の検討結果を踏まえ、市として今後の方針について検討していくものである。		SDGsの取組 8 働きがいも経済成長も 			
事務事業の実績	事業経費		令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和5年度の検討状況 市立温泉施設在り方検討委員会を設置し、全6回の会議を開催し、今後の市立温泉施設の在り方について検討を行い、令和5年11月に検討委員会から市長に対し、提言書を提出した。その後、市の方針を決定し、令和7年度中の運営再開を目指すこととした。	
	事業費（千円）		26,770	10,780	351,053		
	財源内訳	一般財源	13,529	10,780	351,053		
		国都支出金	0	0	0		
		その他	13,241	0	0		
	人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）		1,529	5,385		5,482
		所要人員（人）		0.20	0.70		0.70
会計年度任用職員（千円）		0	0	0			
		所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（事業費+人件費）		28,299	16,165	356,535			
所管課の評価	事務事業の評価			事務事業の今後の進め方			
	【達成度】	<input type="checkbox"/> 目標以上 <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標以下 <input type="checkbox"/> その他 村山温泉「かたくりの湯」に関して、一定の方向性を決めることができた。			令和7年度中に運営再開できるよう令和6年度中に運営事業者の選定をし、改修工事を行っていく。		
	【理由】						